

## JR東日本水戸支社、いわき市が連携して いわき駅周辺のまちづくりを推進します

○JR東日本水戸支社と福島県いわき市は、2019年7月に地域と鉄道の持続的発展を推進する「包括連携協定」を締結し、いわき市内の活性化に向けて、連携して取り組んでいます。

○いわき駅周辺の活性化に資する主な取組みとして、いわき駅南口で計画する並木通り地区市街地再開発事業やJR東日本グループのホテル及び商業施設の複合開発などに加え、いわき駅北口に、新たな医療施設の整備計画を進めます。

○JR東日本水戸支社と福島県いわき市は、今後も、都市づくりの方針である「第二次いわき市都市計画マスタープラン」などに基づき、いわき駅周辺への都市機能の誘導、集積を図り、持続可能なまちづくりを推進していきます。

### 1. いわき駅北口周辺のまちづくりについて

- ・いわき駅北口地区では、周辺の良好な住環境に配慮しながら、住居、医療、福祉機能などの都市機能を誘導し、中心市街地としての人口集積と維持を目指しています。いわき市では、これらの都市機能を誘導する土地利用計画の具現化を図るため、2021年6月30日に用途地域などの都市計画の変更を行いました。
- ・JR東日本水戸支社は、医療機能の誘導として、公益財団法人 磐城済世会と連携し、自社所有地内へ、いわき市内の松村総合病院の移転計画を進めています。駅直結の利便性を活かした総合医療施設の整備により、安全・安心な暮らしを提供します。

### 2. いわき駅南口周辺のまちづくりについて

- ・いわき駅南口では、JR東日本水戸支社において、ホテル及び商業複合施設の開発に着手し、いわき駅周辺の更なる活性化に取り組んでいます。(2022年度冬開業予定)
- ・国道399号(通称、並木通り)北側の区域では、細分化された土地の有効利用を図るため、地権者で組織する組合において、敷地の統合や施設建築物の共同化などの整備を行う「市街地再開発事業」により、駅周辺の更なる賑わいの創出に向けた取組みを進めています。



## ■いわき市による駅周辺のまちづくりの取組みについて

【参考】

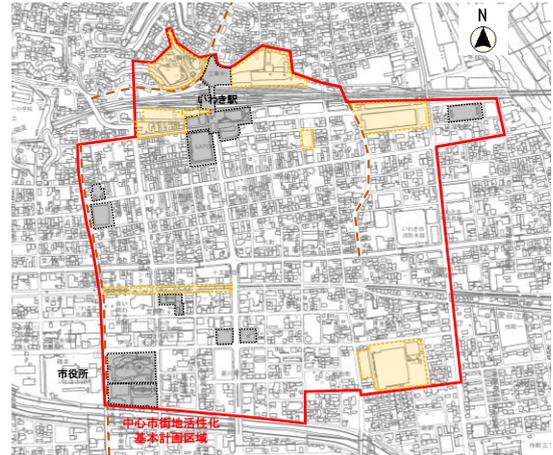
### (1) 中心市街地活性化基本計画（H29年3月認定）

#### <基本テーマ>

人、暮らし、文化を大切にす豊かさと活力とを備えた中心市街地

#### <基本方針>

- ・人を大切にす、楽しく暮らせるまちづくり
- ・事業活動が活発な、活力のあるまちづくり
- ・歴史と文化等を活かして、訪れたいくなる魅力を育てるまちづくり



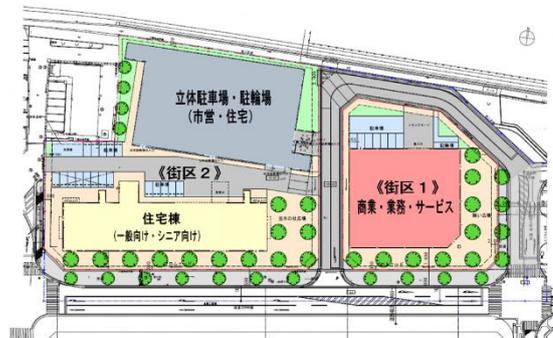
### (2) 都市計画道路<sup>さいづちこうじまくのうちせん</sup>搔榎小路幕ノ内線道路改良事業

歩道や自転車専用通行帯を設置するとともに、電線共同溝による無電柱化を進め、都市における安全で円滑な交通の確保や、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与します。



### (3) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業

いわき駅西側の国道399号（通称、並木通り）と鉄道敷地に挟まれた区域において、細分化した土地に低層の老朽建物が多く立地し、有効な土地利用が図られていない状況であるため、地権者で組織する組合において、「市街地再開発事業」による敷地の統合や施設建築物の共同化などの整備を行い、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、いわき駅周辺の更なる賑わいの創出を目指します。



### (4) (仮称) 磐城平城・城跡公園整備事業

中心市街地活性化基本計画に基づき公園整備を進めておりましたが、事業に伴い実施した埋蔵文化財調査において、磐城平城の本丸御殿と推測される建物の礎石などが出土したことから、それら遺構の重要性に鑑み、史跡指定を目指すとともに、史跡指定の取り組み状況を踏まえ公園基本計画の見直しを進めます。



## ■ JR東日本の取組みについて

### (1) いわき駅カーシェア (2019年3月稼働開始)

JR東日本、いわき市、常磐興産(株)、タイムズ 24(株)の4者で「カーシェアリング官民共創実証事業」に取り組んでいます。いわき駅を含むいわき市内の駅や観光スポットにカーシェアリングステーションを設置し、観光需要の促進を通じて地域の活性化を目指しています。



### (2) 地域情報発信型 NewDays の整備 (2019年7月開業)

地元地域商社などと連携したご当地土産を充実させた情報発信型店舗を整備しました。

いわき市特産のとまとをデザインした装飾を施すなど、地域の魅力発信を行います。



### (3) びゅうプラザ跡地 観光案内拠点の整備 (2019年12月開業)

JR東日本といわき市が連携して、いわき駅をご利用されるお客さまに地域の観光資源を積極的にアピールする観光案内所を整備しました。

タイムズカーシェアの無人入会機の導入や外国人観光案内カテゴリーIを取得した多言語対応など多様なニーズに対応した利便性の高い施設です。



### (4) いわき駅にご当地スイーツショップ開業 (2020年10月開業)

いわき駅に地域と連携した店舗「いわきチョコレートいわき駅店」をオープンしました。常磐線沿線の素材を使った新商品や限定商品を展開し、地域の魅力を発信しています。

「TRAIN SUITE 四季島」で提供されたチョコレートの販売もしています。



#### (5) いわき駅待合室改良（2020年11月リニューアル）

いわき駅をご利用いただくお客さまの利便性向上を通じた「くらしづくり」を進める取組みとして、「常磐線くらしデザインプロジェクト」を展開しています。快適にお過ごしいただける待合室を目指し、カウンターテーブルやベンチをリニューアルしました。

ベンチは、いわき市で発見された日本を代表する化石「フタバサウルス・スズキイ」をモチーフとし、力強さと、うねりを表現しました。



#### (6) いわき駅南口ホテル開発計画（2020年12月着工）

・いわき駅の南口にホテル及び商業の複合施設の開発に着手しました。

・ホテルでは、コンパクトで無駄のない空間ながらも快適性を追求したシングルルームや個室型カプセルキャビンの設置により、いわき市を訪れる方々の宿泊需要に対応します。デラックスツインやツインルームを設けることで、様々な需要に対応できる地域の顔として相応しいホテルを目指します。

・低層部では商業施設（物販・飲食等）を展開し、近隣にお住まいの方々のより豊かな日常をサポートします。



#### 【開業時期について】

2022年度冬（予定）

※埋蔵文化財の発掘調査に伴い、開業時期を延期いたします。

#### (7) 湯本ワーク&コミュニティスペースの整備（2021年7月開業）

JR東日本といわき市が連携して、湯本駅の2階に「湯本ワーク&コミュニティスペース」を整備しました。これまで以上に駅が地域とつながり、お客さまの滞在価値を向上させる空間を提供します。駅名看板に続き、駅舎内にも「フラシティ」を打ち出しています。

